

検討シート

台風によるライフライン停止を対象とした避難タイムライン

～ ハザードマップで想定されていない予期せぬ浸水・洪水にも備える ～

時間 (目安)	施設の防災体制		タイミング・判断基準	防災行動 (例)	役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムラインレベル	洪水					
-120h (5日前)	注意体制	タイムライン発動	<input type="checkbox"/> 台風が発生し、佐賀県（南部・北部）で早期注意情報の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日があるとき	<input type="checkbox"/> タイムライン発動を職員に周知 <input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集 <input type="checkbox"/>				
		レベル1 災害への心構えを高める						
-48h (2日前)		レベル2 災害モード意識に切替 (台風対策の実施)	<input type="checkbox"/> 佐賀県に台風が接近又は上陸する恐れが高くなったとき	<input type="checkbox"/> 対策会議を開催 <input type="checkbox"/> 防災資機材と備蓄品の確認・点検 <input type="checkbox"/>				
-24h (1日前)			<input type="checkbox"/> 大雨又は洪水注意報が発表されたとき	<input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集体制を強化 <input type="checkbox"/>				
	警戒体制	レベル3 災害発生の恐れ	<input type="checkbox"/> 警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたとき <small>※台風の場合、安全に避難できるように気象警報等が発表される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。</small>	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/> 事前に指定された管理職及び職員は参集 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発表されたとき	（予期せぬ浸水・洪水に備える） <input type="checkbox"/> 施設周辺の様子を定期的に確認 <input type="checkbox"/> 浸水（内水氾濫）と洪水（中小河川氾濫）のキキクル（危険度分布）を定期的に確認 <input type="checkbox"/>				
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生の恐れが高い	<input type="checkbox"/> 警戒レベル4（避難指示）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
		レベル5 (緊急安全確保) 災害発生又は切迫	<input type="checkbox"/> 施設及び周辺で浸水がはじまったとき	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の安全な場所に直ちに避難 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告				
	<input type="checkbox"/> ライフライン（電気・ガス・水道）が停止したとき		<input type="checkbox"/> ライフライン停止によるサービスへの影響を確認 <input type="checkbox"/> ライフラインの代替手段などを利用して必要最小限のサービスを継続 <input type="checkbox"/> 復旧時期を確認し、ライフライン停止が長期化する可能性がある場合は、支援の要請や施設外避難も含めて検討 <input type="checkbox"/>					

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。

※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれることなく常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。

記入例

台風によるライフライン停止を対象とした避難タイムライン

施設の所在地が唐津市・伊万里市・玄海町・有田町は「北部」、それ以外の市町は「南部」に○をします。

予期せぬ浸水・洪水から命を守るための最小限の防災行動（例）が示されています。必要に応じて防災行動の追加や行動内容を修正するなどして、タイムラインを充実させましょう。

時間 (目安)	施設の防災体制		タイムライン	判断基準	防災行動	役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムライン				施設長	防災リーダー	夜勤責任者	
-120h (5日前)	注意体制	タイムライン発動	□ 台風が発生し、佐賀県（南部・北部）で早期注意情報の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日があるとき	□ タイムライン発動を職員に周知 □ 防災気象情報の収集	○	◎		役割分担では、防災行動を“誰が”行うかを検討しましょう。それぞれの防災行動に対して、主体的に行動する人は「◎」、行動を支援する人は「○」を記入します。	
		レベル1 災害への心構えを高める							
-48h (2日前)	注意体制	レベル2 災害モード意識に切替 (台風対策の実施)	□ 佐賀県に台風が接近又は上陸する恐れが高くなったとき	□ 対策会議を開催 □ 防災資機材と備蓄品の確認・点検	◎	○			
-24h (1日前)			□ 大雨又は洪水注意報が発表されたとき	□ 防災気象情報の収集体制を強化	○	◎			
	警戒体制	レベル3 災害発生の恐れ	□ 警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたとき <small>※台風の場合、安全に避難できるように気象警報等が発表される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。</small>	□ 施設長に報告及び全職員に連絡 □ 事前に指定された管理職及び職員は参集	○	○	◎		
			□ 大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発表されたとき	（予期せぬ浸水・洪水に備える） □ 施設周辺の様子を定期的確認 □ 浸水（内水氾濫）と洪水（中小河川氾濫）のキキクル（危険度分布）を定期的確認	○	○	◎		
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生の恐れが高い	□ 警戒レベル4（避難指示）が発令されたとき	□ 施設長に報告及び全職員に連絡	○	○	◎		
			□ 警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されたとき	□ 施設長に報告及び全職員に連絡	○	○	◎		
			□ 施設及び周辺で浸水がはじまったとき	● 施設内の安全な場所に直ちに避難 □ 避難の開始 □ 避難完了を自治体に報告	○	○	◎		
		レベル5 (緊急安全確保) 災害発生又は切迫	□ ライフライン（電気・ガス・水道）が停止したとき	□ ライフライン停止によるサービスへの影響を確認 □ ライフラインの代替手段などを利用して必要最小限のサービスを継続 □ 復旧時期を確認し、ライフライン停止が長期化する可能性がある場合は、支援の要請や施設外避難も含めて検討	◎	○	○	ライフライン停止による災害関連死を防止するための最小限の防災行動（例）が示されています。必要に応じて防災行動の追加や行動内容を修正しましょう。	

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。
 ※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれず常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。